

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 4 生育は前年並に早い！かん水と早めの摘果を！

高品質生産のポイントは「定期的なかん水」と「早めの摘果」

1 土壌水分管理を徹底しよう！

○満開 30 日後までは、果実を肥大させるために、十分な土壌水分が必要

⇒ **7日間隔程度で、20～30t/10a かん水**

○特に「やまがた紅王」「紅秀峰」はたっぷりかん水！（「佐藤錦」より多くの水分が必要）

4月以降、降水量が少ない。雨を待たずにかん水を実施！！

2 園地全体の着果状況を確認し、早急に摘果を！

○双子果の発生が多い（特に「紅秀峰」）

○満開期は平年より5～7日程度早い（「佐藤錦」4/20、「紅秀峰」4/16（園芸研））
実止まりが分かってきている。今すぐ摘果に入ろう！！

摘果は、早ければ早いほど、果実肥大は良好に！

着果が多い園地では、すみやかに！

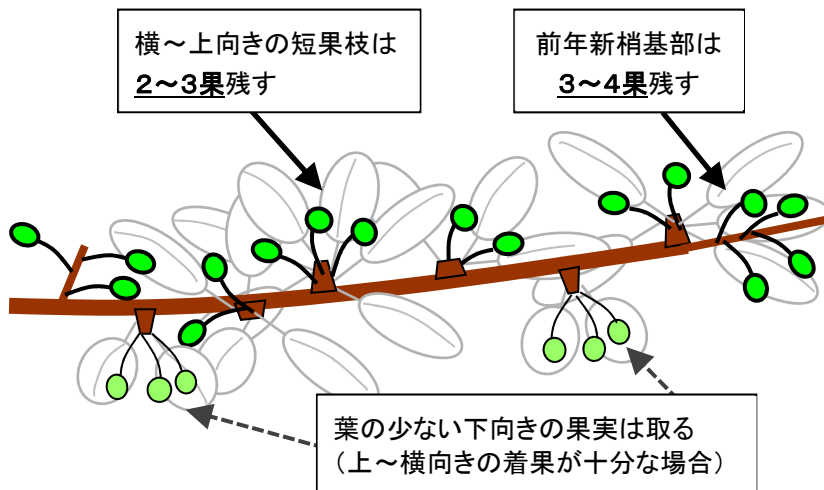
日当たりのよい枝を中心に双子果が多いので逃さずに！

○**摘果はスピード勝負！！まずは園地全体を、粗くひと回りする！**

着果が多い箇所（樹の上部、受粉樹の近く）、樹勢が弱い樹ほど早く

⇒ その後に仕上げ摘果を実施する

○目安：花束状短果枝当たり平均**2～3果**



【双子果は逃さず摘果！】



日当たりの良い樹上部や新梢基部、上向きの短果枝に多い。



さくらんぼ作業中の事故に注意！

今年に入り、**すでに6件の転落事故が発生！**（5月10日現在）

- ・生育は平年より5～7日程度早まっている。
- ・雨除け被覆の時期は例年よりも早まるため、以下の点に注意し、
事前にしっかり準備・点検し、焦らず、計画的に作業を進めましょう。

◆ 危険な場所がないか「事前」に確認

- ① パイプはさびていないか？
- ② クランプはさびていないか？
- ③ マイカ線は古くなっていないか？
- ④ 地面や施設が濡れて滑りやすくなっていないか？



■劣化したパイプは交換

◆ 作業時の注意点

- ① 動きやすい服、滑りにくい靴を着用する
- ② 高所作業時はヘルメットを着用する
- ③ 脚立の天板には乗らない
- ④ 脚立の開脚防止チェーンをかける
- ⑤ 疲労回復に努め、疲れたら無理せず作業をしない
- ⑥ 複数人で作業する



■天板には乗らない

◆ 熱中症予防のポイント

- ① 暑さを避ける
- ② こまめに休憩し水分を補給する
- ③ 熱中症対策アイテムを活用する
- ④ 複数人で作業する



■ファン付きウェア



■ネッククーラー

こちらのQRコードから「やまがたアグリネット」のホームページにアクセスすると
【さくらんぼ作業の事故防止のために 安全対策事例集<第2版>】
が閲覧できますので、ぜひご覧ください。



令和6年度 山形県農作業事故防止啓発運動実施中！（5/13～7/15）
「さくらんぼ作業事故防止運動強化期間及び熱中症対策強化期間」

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課
TEL 023-621-8291 TEL 0237-86-8215 TEL 0237-47-8631
山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）